

科目名	公衆衛生看護学臨地教育実習 I Public Health Nursing Educational Practice I		担当教員 (研究室番号)	清水 真由美 (408)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目		選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	3(90)	授業 形態	実習	科目等 履修生	否
											遠隔授業	否
科目目的	学部教育における公衆衛生看護学実習において、3年生を対象とした実習指導にかかる教育実習を行い、教育指導能力を修得するとともに、公衆衛生看護学領域の臨地教育の現場における課題と解決に向けた方略を考察する。											
ディプロ マ・ポリ シー (DP)	主要なDP	6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。										
	関連する DP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。										
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護基礎教育における臨地実習の意義と目的を述べることができる</li> <li>2. 臨地実習における実習指導者の役割について述べるができる</li> <li>3. 学生のレディネスを理解することができる</li> <li>4. 実習指導の計画を立案し、実施することができる</li> <li>5. 学生の特性に応じた実習指導の方法を理解することができる</li> <li>6. 実習の評価方法を理解し、実施することができる</li> </ol>											
成績評価方法 (基準)	実習内容、臨地実習指導記録簿、臨地教育実習報告書、学生への対応等を総合的に評価する。											
教科書	必要時、紹介する。											
参考書等	必要時、紹介する。											
受講者への メッセージ	学部学生のレディネス、特性を意識して、実習指導に取り組んでください。また、臨地実習での指導方法・あり方についての考えを深めてください。											
備考	公衆衛生看護学演習 I の授業で参加する学部授業科目「公衆衛生看護方法III, IV」で学習する内容が教育実践上、必要な知識となります。											
<b>学 習 内 容</b>												
<p><b>【実習期間】</b> 1月下旬～2月下旬 同行する実習は、本学学部3年生が履修する「領域別看護学実習(公衆衛生看護)」とする。なお、同行する実習施設は大学院生の居住地等から決定する。</p> <p><b>【実習内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実習施設との事前打合せに参加するとともに、学部生用の学生便覧、シラバス、全実習概要・実習要項などから同行する実習についての理解を深める。</li> <li>2) 同行する実習地や施設の特徴をふまえ臨地指導実習に必要な準備を行う。</li> <li>3) 実習目標・学習内容にそった指導計画を立案する。</li> <li>4) 領域別看護学実習(公衆衛生看護)に同行し、学生指導の実際を学ぶ。</li> <li>5) カンファレンスでは、状況に応じて助言を行う。</li> <li>6) 学生の学習状況を確認し、健康教育・地区踏査などへの指導を行う。</li> </ol> <p><b>【教育指導実践に関する記録類】</b> 臨地教育実習での学びや教育的実践については臨地実習指導記録に記載する。また、実習が終了後に臨地教育実習報告書を提出する。</p>												